

羅 針 盤			改善状況のまとめ			学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学型総合学科としての教育課程に、満足している生徒が80%以上である。	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次の選択科目である「生物セミナー」と「地学セミナー」を選択しやすいうように選択科目群の改善を図った。 ・習熟度別授業等少人数指導の効果的な指導法の共有を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの観点からICT機器の活用を推進し、研究授業・授業研究を行った。 ・生徒一人ひとりの自己存在感を高められるよう、きめ細かい指導を行うとともに、学校生活全般にわたり、生徒の活動内容を注視し支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程は、生徒の進路に有益であると評価できる。 ・習熟度別少人数制の授業形態にするなど、進学型総合学科として成果をあげている。 ・生徒一人一人に自己肯定感を高めていくための指導の工夫を期待する。 ・学校、および個々の教員の方々が特色ある学校づくりに努めていることがよく見て取れ、高く評価できる。
		② 習熟度別・少人数制の授業形態に、満足している生徒が80%以上である。	A	A	A		
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	A	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業が分かりやすい」と、評価している生徒が80%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、生徒の定着度を確認しながら、生徒の実態に応じた授業を展開した。 ・授業目標の明確化を図るとともに、生徒が明確な進路目標を持って学習成果を実感できるように取り組んだ。 ・授業に対するアンケートを年2回実施し、その結果を踏まえ授業改善に生かした。 ・年2回の授業公開を実施するとともに、各教科の代表者による研究授業・授業研究、授業を見合う取組を推進した。 ・積極的に校外研修に参加し、さらに生徒の進路目標を把握した上で、個に応じた指導を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が分かりやすい授業や学習指導を実践しているところが評価できる。意欲的に学習に取り組んでいる生徒の割合が昨年を下回っており、生徒の目線で更なる授業改善が求められている。 ・知識の定着や理解の深化、学習の主体性の向上のために、より効果的なアクティブ・ラーニングの検討が必要である。 ・成績上位の生徒たちの多くは満足しているように思うが、成績下位の生徒たちの満足度が気になる。学習意欲をあげる取組が必要である。
		⑤ 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。	B	A	A		
		⑥ 授業に対する生徒の評価を年2回実施し、各職員・各教科で検討し授業改善に生かす。	A	A	A		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 授業改善のため、各教科で研究授業、授業公開、授業研究等を年2回以上実施する。	B	B	B		
⑧ 本校の学習指導は、進路実現に役立つと答えている生徒が80%以上である。		A	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 生徒会活動が充実していると評価した生徒が、80%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭は実行委員会を設置し、実行委員会が中心となって計画・立案し、生徒会と連携して取り組んだ。 ・学校生活及び部活動に対する部員の意識向上を図り、勉強と部活動の両立を目指して部活動を推進した。 ・担任を中心として保護者と連携し、生徒の変化を早期に発見し、学年主任を中心に早期に対応できる体制の構築に努めた。 ・学校全体でスクールカウンセラー活用の意義を周知するとともに、カウンセリング日を昨年度より13日間増やした。 ・基本的な生活習慣確立の重要性を生徒に理解させるとともに、生活習慣の乱れを見逃さずに指導した。 ・学校生活アンケート等も活用し、いじめゼロを目指して、未然防止、早期発見及び早期対応に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に寄り添ってオルタナティブな教育環境を提示し、チーム学校として学校全体の教育相談体制を一層強化することが大切である。 ・スクールカウンセラーの周知も継続的に行われており、問題は認められない。 ・学習と部活道の両面で人間形成を図るため、これまでの取組を生かしながら更なる向上を目指してほしい。 ・生徒会活動など、生徒の主体的な活動が充実していると評価できる。 ・いじめ解消率が目標値の100%に近い点が評価できる。
		⑩ 部活動が充実していると評価している生徒が80%以上である。	A	B	A		
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪ 欠席率が3%以下である。	A	A	A		
		⑫ 相談室やスクールカウンセラーの活用(申込等)方法を知っている生徒が60%以上である。	A	A	A		
		⑬ 東高は規律ある学校だと評価している生徒が、80%以上である。	A	A	A		
⑭ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	B	A	A				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑮ 進路プランニングI・II・IIIに積極的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路プランニングで習得する調査・研究・発表の手法を、その他の様々な教育活動の場面で生かした。また、進路プランニングを通して、キャリア教育の充実を図った。 ・生徒が必要とする情報を研究し、資料作成や講演内容に生かした。「進路の手引」については、面談等の進路指導において活用した。 ・生徒や保護者との面談を通して、進路目標を明確にし、目標達成のための具体的な取組を具体的に示すなどの支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の早い段階から大学入試への取組を始めるなど、大学入試改革の改善に積極的に取り組むことが重要である。 ・生徒が進路プランニングに自主的・積極的に取り組み、適切な指導の実績がある。今後も一層の成果が得られるよう、計画内容について研究する必要がある。
		⑯ 学校から提供される「進路の手引」・進路講演会等の情報が役立っていると評価している生徒が、80%以上である。	A	A	A		
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取	⑰ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。	A	A	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑱ PTA総会・授業公開・学級懇談会等に参加している保護者が、50%以上である。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会等に参加した保護者の意見を参考に、不満な点の解消を図るなど、内容の工夫に努めた。 ・学校行事や保護者通知の情報、緊急の連絡など、見やすく分かりやすいWEBページ作りに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を推進するとともに、地域・保護者に一層関心に向けてもらえるよう引き続き創意工夫を行うことが重要である。 ・保護者を教育改善を担うパートナー位置につけ、教育活動に意識を向けられるように努めることが大切である。 ・「チーム学校」として連携する観点から評価項目の内容を見直すことも必要である。
		⑲ 前東のホームページを見て、学校の情報を得ている保護者が、60%以上である。	A	A	A		